三木町就学前の子どもの教育・保育のあり方検討委員会
第１回会議議事概要

１　日　時　令和２年１月23日（木）
２　開　会　午後６時30分
３　閉　会　午後８時30分
４　場　所　三木町防災センター　第１研修室
５　出席者（委員）津山勝義、阿野秋子、杉山恵子、石濱敏男、植田真次、
　　　　　鯛谷聖玲菜、鎌田亜紀、白井敬根、宮武尚美、吉原照代、
　　　　　久米美佳、髙松和範、佐治裕子
　　　　　伊藤町長、森教育長（事務局）まんでがん子ども課：美馬一生、
　　　　　塩津利幸、道官丈晴、大下美幸、安西美香
６　会議経過
（１）　開会
（２）　委嘱状の交付
（３）　町長あいさつ
（４）　委員の紹介
（５）　委員長及び副委員長の選出
　委員長は、津山勝義氏、副委員長は、阿野秋子氏が選出。
（６）　諮問
（７）　議事
① 就学前の子どもの教育・保育のあり方検討委員会の設置等について
　設置要綱に基づき、本検討委員会の目的、組織、会議の方法等について説明。
② 三木町立幼稚園・保育所の現状について
　町全体人口の推移については、2030年には25,000人を割り込み、2050年には20,000人を割り込むと推計しているなか、本町の総人口及び年齢３区分別人口、公立幼稚園・保育所の入所児童数の推移、第２期子ども・子育て支援事業計画（案）に基づく教育・保育の需要見込み量について説明。
　また、入所児童数の状況としては、公立幼稚園の園児数の減少が進む一方で、保育所の入所希望児童は年々増加しており、令和元年10月では、本町で初めて待機児童が発生。さらには、令和６年度までの第

２期子ども・子育て支援事業計画（案）に基づく教育・保育の需要見込み量についても、保育所については引き続き利用希望が高い見込みとなっている。

このため、待機児童対策を喫緊の課題として検討を進めるとともに、中長期視点で検討することが必要。

町内幼稚園・保育所の構造、建築年数、延床面積、設備等の現状及び各施設の位置図について説明。

③ 今後の進め方（委員会の予定）について

本年４月を目途に検討委員会として待機児童対策に向けての中間報告を行うとともに、本年中には最終報告として答申できるよう進めていく予定とする。

次回は、実態に即した検討を進めていくため、町内幼稚園・保育所及び町外の認定こども園について現地視察を行う。

（８） 閉会

８　配布資料

・三木町就学前の子どもの教育・保育のあり方検討委員会委員名簿
・三木町就学前の子どもの教育・保育のあり方の検討について（諮問）
・三木町就学前の子どもの教育・保育のあり方検討委員会設置要綱
・三木町立幼稚園・保育所等の現状について
・施設位置図

以上